

1994年度／平成6年度（平成6年4月～平成7年3月）



役員

部長	丸山 徹
師範	岡野 功、安藤 勝英、朝飛 大
監督	清水 正敬
主将	秋山 康元
主務	河津 雅宣
副将	徳永 宏規
学連委員	堀 有
体育会常任委員	秋山 康元、伊藤 肇、木村 英輔
副務	大澤 滋久、丸山 隆之
新人監督	伊藤 肇
日吉高コーチ	遠藤 励
志木高コーチ	山田 守彦
普通部コーチ	眞野 仁彦
中等部コーチ	木村 英輔
幼稚園コーチ	永井 航生
合宿所主務	徳永 宏規
合宿所副務	伊藤 肇

慶應柔道部の魅力

秋山 康元

中学高校と柔道に明け暮れていたこともあり、1年おいて平成3年の春に慶應義塾の門を叩きました。有り難いことに入学式の前から柔道部の先輩方には熱心に勧誘していただきました。その当時、高校の柔道部同期が1年先に早稲田柔道部に入部していたこともあり、慶應柔道部に入るか否か相談したことがありました。その時、彼は

「稽古中に井上陽水の『夢の中へ』を歌いながら楽しそうに後輩を絞め落としてまわる人がいるらしい。」（⇒後にわかりましたが、当時4年生のT村先輩のことで、その後、『夢の中へ』は歌っていませんでしたが稽古後に道場で麦茶を飲んでいるときに発作的に1年生全員を落としてまわられていました。）

「流通経済大学に頻繁に稽古に行っているらしい。」（⇒高校生の時、柔道界の『タイガーマスクの虎の穴』のようなヒドイところがあるらしいと噂になっていました。）

「正直、入らない方が身のためと思う。」

などと言っていました。実際に柔道部の先輩方に接してみると、新入生に最初はやさしい面を見せてくれているものの、その裏側に潜むタダナラヌものを根が臆病な私は敏感に察し、これは相当な覚悟をしなければならないなあと感じたのを今でも覚えています。

1年生の時、柔道の稽古や呑みはもちろん、稽古後に汗でビショリ重くなった柔道着を背負

い翌日の食当の食材を両手に抱え何が起こるかわからない合宿所までの暗い夜道を心細く歩いたり、次々と去っていく同期を懸命に留めたりとまさに無我夢中でしたが、不思議と嫌でも辞めたいとは思いませんでした。それまで中学高校をスポーツ推薦がある柔道部で過ごしていた私は、学生自らの意志で敢えて厳しい環境をつくり自分を律し勝負している慶應の先輩方や柔道部生活に男のロマンを感じていたのだとその後徐々に実感するようになり、またそれが自分の柔道の原点であったと今も確信しています。あまり関係はありませんが、入部当初、〇門先輩からよく叱咤されていた「弱音と寝ゲロは吐くな！」という言葉は今でも私の座右の銘となっています。(あまり守られていませんが。)

現在の柔道部で、私が学生の時に幼稚舎生だった吉田君が逞しくなり(この記念誌の発行される頃には)大学での活躍が期待されること、巣鴨高校出身の後輩である佐藤君が頑張っていること、私と同じ理工学部が増えていることにとっても感慨深いものがあります。スポーツ推薦のない塾柔道部では教育一貫校からの内部進学者と外部からの受験進学者が互いに切磋琢磨していく環境が理想であると今更ながら感じます。恒例となりつつある綱町柔道祭と慶應杯は「内部の連携」「外部への発信」という面でまさに象徴的なイベントであると思います。その成果が出始めていることを考えると、最初に企画し、その後継続して運営されている先生先輩方に非常に頭が下がる思いで一杯です。微力ですが、お手伝いできればと思っております。

今回、この125周年記念誌編集の一員に加えていただき、幸運にも塾柔道部のこの25年間を辿ることができました。その1日1日、1年1年の重さに改めて感動し、諸先輩方の偉大な功績を再認識しているところです。また我々の代が大した実績もなく、不甲斐ない悔しい思いも蘇ってきました。しかし、柔道に全力を注ぎ込んでいた日々は確かにそこにあったもので、その時の思考・集中力・経験、そして仲間達は今も将来も自分にとってかけがえのない財産であるなあと改めて実感しています。

125周年を迎えるにあたり、慶應柔道部で携わった多くの方々に感謝するとともに、今後150年・200年と1人でも多く塾柔道部の輪が繋がっていくことを願って止みません。

柔道部に入部して

河津 雅宣

夕方、ふと天井を見ると柔道場の天井を見上げ、早朝、ふと気付くと包丁を握っていた。前者は柔道の稽古で押さえ込まれ、後者は合宿所で朝の食事当番（今はこの当番があるのであろうか??）でありました。当時の大学1年生というとそういう毎日の繰り返しであったように思います。私は塾高から柔道部に入部し大学の体育会柔道部の先輩をたくさん知っていたこともあり、入部の際のオリエンテーション時にいろいろな先輩から誘いのお言葉をいただきました。「大学の柔道部に入部すると合コンはたくさんあるし、モテモテだぜ!!」なんていうお誘いの言葉をいただきました。（たしか2学年先輩の高柳雅矢先輩だったか???) 1学年先輩の本多諭先輩にはデニーズとかでたくさんご馳走していただいたりしました。。。あれよあれよという間に体育会柔道部の門を叩くことになりました。（程なくあの言葉はいったい??どこへ??）

いっしょに入部した同期は留学生のポール氏を含め10名の面々が入部し、特に同期の秋山氏は身長192cm体重100キロという立派な体格、また徳永氏は入部当初、原宿（東京ではなく横浜の）に住んでいることを自慢していましたことが印象にあります。4浪で入部した人もおり、個性豊かな人間たちが入ってきました。（しかし最後まで残ったのは3人でした）今、思えば3人（秋山と徳永と私）で良かったのかなと思う今日この頃です。

柔道部の当時の恒例行事はたくさんありました。「今年もこの時期か!!!!」練習のキツさはさることながら、飲みに関しても下級生にとってはキツイ恒例行事があり、代表的なのは練習後の打ち上げや温泉旅行やヤングファイト等でした。3月の終わり……春休みの終わったあとでした、、、既に大瓶のビールケースが約10ケースほどが合宿所の玄関にカワウチ酒店から届いていました。ヤングファイト（簡単に言うと酒の早飲み大会です）の開催でした。食堂にはなぜかミキサーやあやしい調味料等……なにに使うんだろうかと頭に思い巡らせていましたが、時期が経つにつれ判明してきました。我々がソルジャーの時は人数が少なかったせいもあって水球部やバレー部の同期も参加してくれ、みんなビビッていました。決勝は192cmの秋山と私（身長170cm）の組み合わせとなり当然、体格差で秋山氏が誰もが勝つと思っていたようですが、なんと私が優勝してしまいました。皆んな酔っ払っていましたが、後で聞くと4年生の方々からの暖かい豪華賞品（どこかへご招待etc.）をいただく予定でしたが、卒業してもいまだにいただいております。いったいいつになったらと……ふと思うこの頃です。

慶早戦で4年間勝利出来ず悔し涙を流した時やきつかった練習、あるときは楽しい思い出がたくさん詰まった柔道部時代であり、その時の経験があったからこそ今の私があるのではと実感しています。OBとして出来る限りのご恩返しをしたいです。

試 合 記 録

■東京都柔道選手権大会 平成6年3月3日 講道館

2回戦	徳永 宏規 3年	足払い	○	芦谷憲章	大東大
2回戦	伊藤 肇 2年	判定	●	倉吉智宏	日体大

■第13回 東京学生柔道体重別選手権大会 平成6年5月22日 日本武道館

-60kg級	1回戦	河津 雅宣 4年		背負投げ	○	吉岡	東海大
	1回戦	高野 明 2年	○	背負投げ		鶴見	二松学舎大
	2回戦	高野 明 2年		小外刈り	⊖	木村	明治大
-65kg級	1回戦	丸山 隆之 2年		注意	⊖	高橋	東海大
	1回戦	永井 航生 2年		合せ技	○	北垣	芝浦工大
-71kg級	1回戦	木村 英輔 3年	○	不戦勝		長田	玉川大
	2回戦	木村 英輔 3年		横四方固め	○	松本	大東大
	1回戦	大沢 滋久 3年	○	内股		宮島	二松学舎大
	2回戦	大沢 滋久 3年		内股すかし	○	福地	日体大
	1回戦	西村 嘉晃 2年		送り襟絞め	○	手倉森	一橋大
-78kg級	1回戦	徳永 宏規 4年		合せ技	○	近藤	中央大
	1回戦	遠藤 励 3年		腕拉ぎ十字固め	○	窪田	国土館大
	1回戦	伊藤 肇 3年	●	判定		太田	創価大
	2回戦	伊藤 肇 3年		袈裟固め	○	柳浦	東京学芸大
-86kg級	1回戦	小針 純朗 1年	○	内股		田村	高千穂大
	2回戦	小針 純朗 1年		内股	○	中西	専修大
-95kg級	1回戦	秋山 康元 4年		合せ技	○	松井	日大

■第43回 東京学生柔道優勝大会 平成6年9月4日 日本武道館

2回戦	本 塾	1	-	5	亜細亜大学
	高野 明 2年	○	三角絞		山道貴宣
	遠藤 励 3年		引分け		中村大介
	徳永 宏規 4年		大外刈り	⊖	大沼千慶
	島本浩一郎 1年		腕絡み	○	林圭太
	伊藤 肇 3年		合せ技	○	大田明
	大沢 滋久 3年		大外刈り	⊖	隆淳一
	秋山 康元 4年		背負投げ	⊖	沢崎道

■第46回 全日本学生柔道優勝大会 平成6年10月1日 日本武道館

1回戦	秋山康元 4年	○	久野 愛知大
-----	---------	---	--------

■第36回 東京学生柔道二部優勝大会 平成6年10月10日 講道館

1回戦	シ ー ド				
2回戦	本 塾	2	-	1	東京大学
	高野 明 2年		引分け		西 森
	遠藤 励 3年		横四方固め	○	後 藤
	秋山 康元 4年	⊖	内股		田 中
	猪 忠義 2年		引分け		杉 本
	島本浩一郎 1年		引分け		桑 形
	伊藤 肇 3年	⊖	大内刈り		野 瀬
	徳永 宏規 4年		引分け		森
3回戦	本 塾	5	-	1	上智大学

	遠藤 励	3年		引分け		長 田
	高野 明	2年	○	上四方固め		川 田
	小針 純朗	1年	○	内股		伊 藤
	猪 忠義	2年	○	合せ技		本 郷
	伊藤 肇	3年	○	背負投げ		小 室
	徳永 宏規	4年	○	大外刈り		河 内
	秋山 康元	4年		横四方固め	○	高 本
準決勝	本 塾		1	-	4	東京農業大学
	高野 明	2年		注意	⊖	森 園
	猪 忠義	2年		合せ技	○	小 林
	伊藤 肇	3年	○	合せ技		小 林
	大沢 滋久	3年			○	吉 田
	徳永 宏規	4年		内股	○	伊 藤
	遠藤 励	3年		引分け		箱 岩
	秋山 康元	4年		引分け		高 田

■第46回 早慶対抗柔道戦 平成6年10月23日 早稲田大学柔道場

本 塾	-	○	早稲田大学	13人残し
			優秀選手：伊藤肇、島本耕一郎、小針純	
高野 明	2年		背負投げ	⊖ 中島康介
小針 純朗	1年	○	内股	中島康介
小針 純朗	1年		抑え込み	○ 栗山行雄
小田 和哉	1年		引分け	栗山行雄
高橋彦太郎	1年		内股	○ 浜田知成
遠藤 励	3年		注意	⊖ 浜田知成
米井 慎一	1年		小外刈り	○ 浜田知成
島本浩一郎	1年	○	腕拉ぎ十字固め	浜田知成
島本浩一郎	1年	⊖	払腰	徳久幸太郎
島本浩一郎	1年		体落し	○ 青井渉
杉原大二郎	3年		体落し	○ 青井渉
永井 航生	3年		引分け	青井渉
伊藤 肇	3年	⊖	背負投げ	工藤大樹
伊藤 肇	3年		抑え込み	○ 舞田浩二
勝呂 啓太	1年		引分け	舞田浩二
芦田 一郎	2年		腕拉ぎ十字固め	○ 村瀬秀行
丸山 隆之	2年		足払い	○ 村瀬秀行
堀 有	3年		抑え込み	○ 村瀬秀行
木村 英輔	3年		大外刈り	○ 村瀬秀行
猪忠 義	2年		抑え込み	○ 村瀬秀行
河津 雅宣	4年		抑え込み	○ 村瀬秀行
大沢 滋久	3年		小外刈り	⊖ 村瀬秀行
徳永 宏規	4年		大外刈り	○ 村瀬秀行
秋山 康元	4年		大外刈り	○ 村瀬秀行
				松下尚樹
				徳山義浩
				奈良剛匡
				川合孝弘
				浜田宜志
				志田康弘
				臼井紀之
				寺師裕二
				橋本裕司
				関口拓也
				漆畑剛司
				藤賀章夫

程ヶ谷三田柔友会懇親コンペ

1. 会の名称 程ヶ谷三田柔友会懇親コンペ
2. 会の内容 程ヶ谷カントリー倶楽部の会員で慶應柔道部に籍を置いたことのある会員により構成されている。平成10年に発足。
3. 活動状況 年2回、春・秋に開催。懇親コンペ後、東京に場所を移動して懇親会を実施。場所は五十嵐先輩の店YumYumや三宅先輩の店満天星などを主として利用している。
4. 主な参加者 (敬称略、中には一時期柔道部に籍を置いただけの為柔友会に所属していないものもいる。) 水谷英夫、依田祥太郎、阿部英之輔、笹山堅、稲田敬、河村泰造、五十嵐康之、福沢雄吉、鈴木正毅、加藤順介、渡辺紀久男、渡辺泰彦、岩崎正男、鈴木重利、鈴木重安、水谷直矢
5. 世話役 鈴木正毅、岩崎正男、水谷直矢

以上

追記：岩崎連絡先 陽和産業株式会社 電話 03-3212-0949